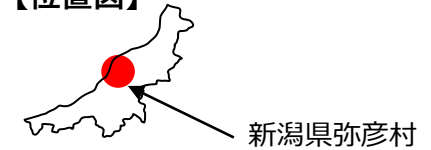


農作物の管理を支援し基礎技術を習得

- 弥彦村農業再生協議会が実施主体となり、高齢化で担い手が減少する中、村内農家を研修先とした研修体制を構築し、新規就農者の育成を図っている。
- 研修生に実践的な農業研修を行うべく、研修生自身が特産枝豆やさつまいもなどの農作物の管理・生産を行える研修農場を整備し、指導会の会場とするほか、研修生自身が責任を持ち、農作物の管理を行うことで、農作業技術の向上、品目別基礎技術の習得を図っている。

【位置図】



取組前

- 研修農場に農機具が整備されておらず、耕耘・畝立て等といった基礎的な農作業は、研修受入れ先でしか行うことができなかった。



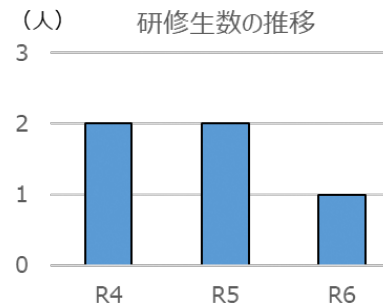
取組内容

- R4年度は、研修生自身が操作して農作物の管理を行うことで農作業技術の向上を図るため、事業を使って小型の管理機を導入した。
- R5年度以降、管理機を活用した研修を行い、農作業技術の向上を図っている。

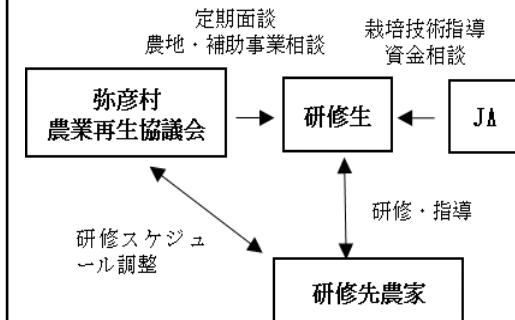


取組後(成果)

- 管理機を用いて、研修生自ら、枝豆やさつまいもの栽培を小面積ながら行った結果、基礎技術の習得につながった。
- R4年度以降に受け入れた3人の研修生(累計5人)はいずれも就農し、枝豆やさつまいもを生産している。



【サポート体制】



新規就農者や研修生の声

- 実際に自身で管理することで責任感が生まれ、通常の研修では身につかない細かい技術を習得することができた。
- 自身で管理することで作物を育てる責任感を就農前に経験できた。

サポート体制構築事業 活用年度：令和4年度

【問合せ先】 弥彦村農業再生協議会

TEL：0256-94-1023

E-mail：sangyou@vill.yahiko.niigata.jp